

茨城県つくば市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年~2023年

(1)2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年(目標値)	達成度 (%)
1	2015年度以降の産業競争力強化法に基づく新規創業者数 [8.2, 9.5]	2020年3月 420 社	2022年6月 631 社			2030年 1,111 社	30.5%
2	学力格差の解消に向けたこどもの学習支援者数 [1.2, 1.3, 2.1]	2020年4月 236 人	2022年3月 332 人			2030年 600 人	26.4%
3	自己肯定感を持つ児童生徒の割合 [4.1]	2021年 75.5 %	2021年 75.5 %			2030年 80.0 %	0.0%
4	地域や社会に目を向ける児童生徒の割合 [4.1]	2021年 50.7 %	2021年 50.7 %			2030年 55.0 %	0.0%
5	地域包括支援センター設置数 [10.2]	2020年10月 7 か所	2022年3月 7 か所			2030年 8 か所	0.0%
6	市全体人口に対する居住誘導区域内の人口割合 [11.1, 11.2, 11.a]	2015年 53.3 %	2015年 53.3 %			2035年 58.0 %	0.0%
7	「低炭素社会の推進」に係る市の取組への満足度 [7.2, 7.3, 12.5, 12.8, 13.1, 13.2]	2020年3月 19.6 %	2022年3月 18.4 %			2030年 30.0 %	-11.5%

(2)自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況(2021年~2023年)

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	① 市民自らが社会課題解決に向けた取組を実施する	つくばSDGsパートナーズ会員が、SDGsに関する社会課題の取組に参加している割合	2019年12月 38.1 %	2021年12月 58.6 %			2024年 43.9 %	353.4%
2	② つくば市におけるSDGs(持続可能な開発目標)に関する認知度向上	SDGsに関する認知度	2019年12月 34.9 %	2021年 72.8 %			2023年 45.0 %	375.2%
3	③ I 魅力をみんなで創るまち	パブリックスペース活用の取組数	2020年 3 取組	2022年3月 11 取組			2023年 27 取組	33.3%
4		周辺市街地における地域民間企業・NPO等の新たな協働件数	2020年8月 5 件	2022年3月 6 件			2024年 16 件	9.1%
5		地産地消レストラン・販売店数	2019年 45 店舗	2022年3月 153 店舗			2024年 150 店舗	102.9%
6	③ II 誰もが自分らしく生きるまち	公共交通満足度	2019年 36.1 %	2021年12月 43.3 %			2023年 37.0 %	800.0%
7		バス停圏域(500m)カバー人口の割合	2020年 83.4 %	2021年10月 79.5 %			2023年 84.0 %	-650.0%
8		地域包括支援センターへの延べ相談件数(年間)	2020年3月 8,823 件	2022年3月 12,660 件			2023年 11,400 件	148.9%
9	③ III 未来をつくる人が育つまち	子どもの学習支援等における空き教室の活用数	2020年3月 3 か所	2022年3月 5 か所			2023年 5 か所	100.0%
10		つくばスタイル科(ESDを含む)の実施学園数	2020年 16 学園	2021年 16 学園			2023年 16 学園	100.0%
11		つくばSTEAMコンパス事業の延べ参加者数(年間)	2020年3月 495 人	2022年3月 246 人			2023年 200 人	123.0%
12	③ IV 市民のために科学技術をいかすまち	技術系の新規創業者数(期間累計)	2020年8月 1 件	2022年8月 23 件			2020年~2024年 50 件	44.9%
13		Society5.0社会実装トライアル支援事業採択件数	2020年12月 20 件	2021年9月 26 件			2024年3月 35 件	40.0%
14		国際戦略総合特区推進事業連携企業数	2020年3月 616 件	2022年6月 879 件			2024年3月 1,181 件	46.5%
15		利用しやすいオープンデータ件数	2020年9月 123 件	2022年3月 160 件			2024年 150 件	137.0%
16		つくば市低炭素(建物・街区)ガイドラインの認定住宅数	2019年 67 戸	2022年3月 261 戸			2024年 342 戸	70.5%

(3)SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組

全体的に予定通り順調に進捗している。

しかし、環境面の**指標7「『低炭素社会の推進』に係る市の取組への満足度」**の進捗に停滞がみられる。これは、新型コロナウイルス感染症の影響によって効果的な広報活動・啓発事業等を行うことができず、情報発信が不足したことが原因だと考えられる。そのため、どのような状況でも情報発信を行うことができるように環境教育に関する動画の作成・発信や、出前講座等のプログラムを実施する予定である。

指標3「自己肯定感を持つ児童生徒の割合」・指標4「地域や社会に目を向ける児童生徒の割合」は、2021年度に指標を改定したため当初値から変化がない。

指標5「地域包括支援センター設置数」は、事業計画でセンターは圏域内の高齢者3000人~6000人に1か所を目安に設置しているため、人口推移を見ながら8か所目の設置を目指す。

指標6「市全体人口に対する居住誘導区域内の人口割合」は、2020年度に実施した国勢調査の結果が公表されておらず算定できないため、当初値から変化がない。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組

16指標のうち8指標ですでに目標値を達成し、その他の多くの指標も予定通り順調に進捗している。

しかし、**指標7「バス停留域(500m)カバー人口の割合」**の進捗に停滞がみられる。これは、既存バス停の500m圏域外において新規の宅地造成が進んでおり、圏域内の人口増加を上回るペースで圏域外の人口が増加しているため、相対的に圏域内人口の割合が低下していることが原因だと考えられる。そのため、今後も引き続き地域の人口の推移を踏まえながら適切に公共交通サービスを提供していく。

また、**指標4「周辺市街地における地域民間企業・NPO等の新たな協働件数」**も進捗に遅れがみられる。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、各周辺市街地における協働事業が実施できないことが増えたためである。今後は、空き店舗活用のチャレンジショップや、地域振興の担い手となる人材を発掘・確保するためのワークショップを実施するほか、感染症の影響下でも実施できる新たな事業も模索していく。